

令和4年度の取り組み 議会本会議一般質問で質問・提案した内容

住んで良かったと思える町“葉山”をテーマに…
【環境】【福祉】【教育】【防災】【行財政】5つの柱を軸に、この1年は、**町民の皆様との意見交換会の場で頂いた問題点や課題等**を指摘しつつ、改善すべき点や打開策、新たに取り組むべき施策を提案して参りました。

Q:住んで良かったと思える町“葉山”について

・子どもが安心して遊べるような公園整備…特に長柄地区におけるゲートボール場を有効利用し、官民の協働で造り育てる新しい公園の新設と、それに伴う地下道や階段等の整備の提案。



・葉山の交通渋滞問題 ⇒ 既に改善策を提案していた、県道311号線の南郷交差点渋滞緩和策の進捗状況を確認し、早期実現に向けて取り組むように要望。

・路上喫煙やタバコのポイ捨てについて、「葉山町美化促進に関する条例」では「たばこの吸殻のポイ捨ては禁止、違反者には2万円以下の罰金が科せられる」というルールがある以上、しっかりと啓発するようにと提案。

・放課後児童対策について、「学童クラブの待機児童」の把握と対策を求めました。特に、長柄地区では、問題が顕著なので、早急な対応をするように要望。

・町民プール・体育館の新設を、今後訪れる公共施設再編時に向けた検討項目に取り入れるように要望。

Q:安全で安心なまちづくりについて

・地域防災力の強化について、土砂災害ハザードマップの住民への周知徹底と有効活用を要望。
 ⇒防災勉強会の開催や自治会格差を無くすための防災訓練の斡旋、**有事の際の対策を各家庭でしっかりと構築**できるように提案。



・自身の提案で採用され、R4年4月より運用が始まった避難所状況確認アプリについて、町民は存在すら全く把握していない状況。宝の持ち腐れにならないよう町民への周知の徹底を要望。
 ⇒ホームページや広報への情報提供と、アプリダウンロード方法のPR

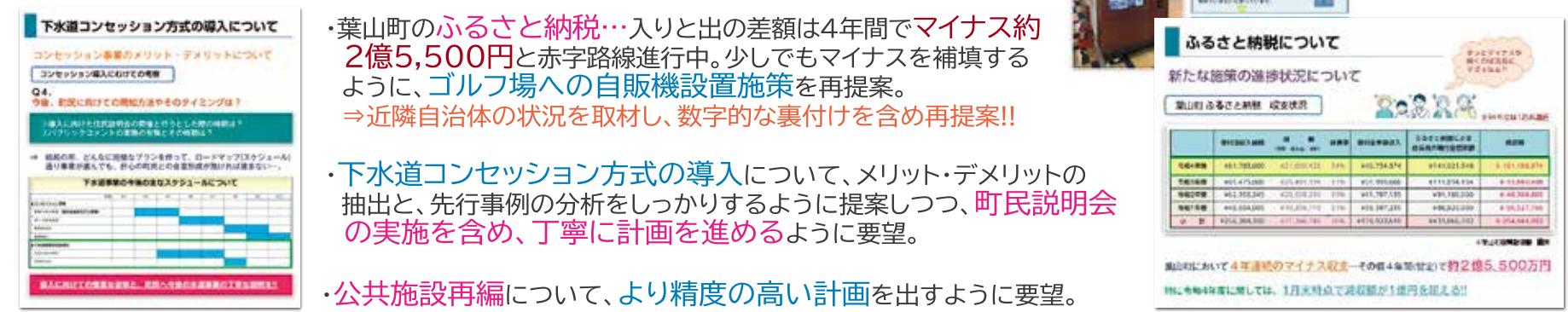
・消防団員の減少対策について、町の広報でのアピール方法や新たな施策、アイデアの提案。

・新型コロナウイルス感染症対策における子どものワクチン接種について、どちらを選択したとしても、イジメや差別がなく、平穏な学校生活がおくれるような体制づくりの確認と要望。

※その他、「マスク着用の正しい指導」「黙食の解除」

Q:行政の役割や町民サービスの充実について

・庁舎内屋外喫煙所の設置について、設置に向けたスケジュールと煙や臭いの影響の確認、及び設置後の見た目改善や、禁煙啓発に向けた新たな施策の充実を提案。



・葉山町のふるさと納税…入りと出の差額は4年間でマイナス約2億5,500円と赤字路線進行中。少しでもマイナスを補填するように、ゴルフ場への自販機設置施策を再提案。
 ⇒近隣自治体の状況を取材し、数字的な裏付けを含め再提案!!

・下水道コンセッション方式の導入について、メリット・デメリットの抽出と、先行事例の分析をしっかりするように提案しつつ、**町民説明会の実施**を含め、丁寧に計画を進めるように要望。

・公共施設再編について、より精度の高い計画を出すように要望。

Q:葉山の学校教育・現場のこれからについて

・学校教育現場でのエシカル(地球温暖化対策)について、環境に配慮した教材選び、プラスチックごみ削減のためのリユース・リサイクルを構築するように要望。
 ⇒鎌倉市での「アサガオの鉢」の見直しや、逗子市のリユース活動を紹介し対応を提案。

※これは、町民との意見交換会で意見のあった「臨御橋の修繕」に使われていたカラーコーンの壊れた破片が海洋プラスチックごみになっているというご指摘の元、早急な改善と、そもそも町で使用する素材の見直しを求めて提案した事が実際に改善された例の一つです。



・更に、木材等の図工教材について、商工会や町の様々な活動団体等を通じて、自前で調達することの可能性を模索するように提案。

⇒葉山の里山は、人の手を入れて維持・管理する必要があり、近年、様々な事業や団体の活動がクローズアップされている状況を踏まれば実現可能と判断!!

・エシカル給食について、オーガニック給食の導入や牛乳の意義や扱い、残渣等、現場の把握や、各学校共通の指導・対応をするように要望。⇒特に牛乳の飲む飲まない選択手続きについて。

・「香害」について、現状の学校現場での状況把握と対応策を確認。

⇒その上で、児童や保護者に対する啓発に繋いでいくように提案。加えて町としての対応も要望。



石岡 実成 議員



オンリーワンに拘った質問形式

2017年9月から導入された「議会ICT化」による本会議でのタブレットを使用した会議システムが始まっています。全て(R5年3月末まで計21回)の本会議での一般質問の場で「プレゼンテーション資料」を作成し、質問(指摘・要望)するスタイルに拘っています。

この方式では、それぞれの問題点や課題の抽出、又、それに対する改善策等、視覚としてリアルに把握する事が可能となり、聞き逃し対策にも繋がり、質問内容の相互理解も容易になります。

また、4ページでご紹介していますが、この取り組みが、「2022年マニフェスト大賞(地方自治体の議会、首長、市民等による、地域の民主主義向上に資する優れた取り組みを募集し、表彰するもの)」にて、一定の評価を得た事は、信念に基づいて続けてきた努力が報われたものと思っています。

また、指摘や批判をする事より、新たな施策や対案をぶつけ、言動にも責任をもって臨んでいます。

今回、この紙面で掲載している“一般質問のプレゼンテーション資料”画像は、ほんの一部です。

全ての資料は【“石岡じっせい”公式ホームページ[Reportボタン]】よりご覧になれます。

↳ <http://www.jissei-ishioka.com>

()内の数字は、昨年の採点結果です。

点数

no.	評価科目	評価科目の内訳・詳細	点数
1	基礎的能力[20点]	基礎知識／政策立案／質問・説明・説得力	18 (17)
2	行政チェック度[20点]	町部局への評価姿勢／監視／町長との議論	17 (16)
3	公約達成度[15点]	公約の有無／内容の具体性／達成努力／達成結果	12 (6)
4	議会報告[10点]	議会報告紙の発行／HP・SNS使用／個人報告会開催	8 (7)
5	議会内態度／姿勢[10点]	欠席／遅刻／早退／離席／居眠り／私語／内職	9 (9)
6	行動力(フットワーク)[5点]	町民イベント・行事・会合等への積極的な参加	4 (4)
7	特性[5点]	民主度／市民感覚／市民目線	4 (4)
8	好感度[5点]	親しさ／清潔感／身嗜み／言葉遣い／明るさ	4 (4)
9	発言力[5点]	議会内の発言力・影響力	4 (4)
10	政務調査活動[5点]	政務調査費の使途報告	5 (5)
総合計点数(100点満点)			85点(76点)